

日本共産党  
岩国市議団  
岩国市山手町  
4丁目3-5  
電話  
22-2245  
FAX  
24-2735

# 6月議会 米軍基地に対する市の基本姿勢について 大西明子議員の代表質問

大西議員は、日本共産党が、プーチン政権の無法を糾弾し、「ロシアは侵略をやめよ、国連憲章を守れ」の一点で力を合わせることをよびかけていること、また、唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に参加し、核兵器のない世界実現の先頭に立つことを求めていることを紹介し、質問に入りました。



ウクライナ危機に乗じて、自民党や維新の会などが「敵基地攻撃能力」の保有、核の共有や、軍事費のGDPの2%以上という大軍拡を煽っています。



十分な安心・安全対策が講じられると認められない場合には、これを容認できないという立場を基本姿勢とすると、これまでと同様の答弁をしました。

大西議員の、日米安保条約は永遠に続き、在日米軍は永遠に駐留

今、日本が直面している最大の危機は、日本が攻撃されていないのに、アメリカが軍事行動を始めたら、安保法制、集団的自衛権を発動し、自衛隊が米軍と一緒に敵基地攻撃で攻め込む、すると相手国も日本を攻撃することにあるとして、米軍基地のある街の市長として、戦争にしないための対策をどのように考えているかと質問しました。

日米地位協定は、日米安保条約第6条の協定で、大きく3つの内容からなっています。①米側は日本国内のどこでも望む場所に基地を置く権利がある、②基地を自由勝手に使用できる、米軍基地には国内法は適用されない、基地内に自由に施設を建設できる、部隊も自由に配備できる、無通告で訓練ができる文字

## 市営住宅の改善を要望

国土交通省は、公営住宅の建設・建て替え・改修や修繕・家賃対策などに要する費用の一部を、社会資本整備総合交付金や各種補助金などにより助成しています。また、公営住宅法の第1条で国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸し、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とするとあります。

現在、市営住宅は93団地あり、戸数は2298戸、入居者は2999人となっています。建設からかなりの年月が経過しているため住宅の修繕・改修の要望が多くあるとおもいますが、現在の改善状況を訊ねました。

住宅課は、平成21年度から、1階の空き室を対象に高齢者仕様

大西議員は、近く梅ヶ丘団地では改善要望の一番強いのは、浴室の改善だと指摘、(右写真のように)浴槽の高さが67センチもあり、高齢者の方は浴槽に入らず、冬でもシャワーで済まして

## 日米地位協定の見直しについて

通り「治外法権」である、③国ニアで米兵や軍属が犯罪を起こしても「公務中」であれば米側が第一次裁判権を持つ、というものです。

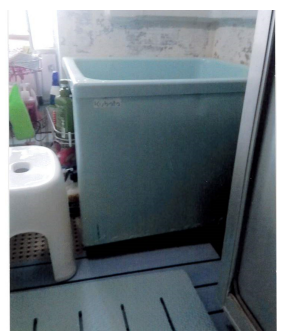
市長は、スタンス的には大西議員と全く同じで、地位協定の改定を望んでいる。抜本的な見直しに着手していないことが国の説明であると答弁しました。

この日米地位協定の見直しは一度も行われていない、全国知事会も見直しを要求しているが、残念ながら前進がない、大西議員は、この状況について、市長の見解を質しました。

大西議員は、市長は、全国知事会の提言というものは大変重く、国はしっかりと受け止めるべきと述べている。国が見直しを米軍に求めるまで要望し続け、国



が対応せざるを得ない状況を作ることは基地のある街の市長の役割であると指摘しました



に回収する改善工事を毎年実施している。毎年6戸程度、13年間で81戸の改善をしていると答弁しました。

大西議員は、近く梅ヶ丘団地では改善要望の一番強いのは、浴室の改善だと指摘、(右写真のように)浴槽の高さが67センチもあり、高齢者の方は浴槽に入らず、冬でもシャワーで済まして

住宅課は、要望があれば調査して対応を検討したいと答弁しました。さっそく団地の方から要望が出され、市に提出しました。冬には湯舟に入れるよう早い対応を求めました。



# 米軍基地へ艦船が相次いで寄港 なし崩しの寄港を許さない毅然とした態度を 長岡辰久議員の一般質問

6月にF35Aが18機、F22が12機飛来し外来機は計30機。昨年3月の18機に比べ約2倍です。市長は14日「負担増に見合う交付金の増額を求めている」と他議員に答弁したばかりです。「負担増に見合う交付金の増額」では、市民の不安は解消できません。



アメリカ軍広報サイトDVIDSより

強襲揚陸艦など米海軍を中心に延べ17隻が寄港しています。

相次ぐ寄港の原因とミゲルキース4回目の寄港について

昨年から米海軍強襲揚陸艦「アメリカ」「トリポリ」、遠征洋上基地「ミゲルキース」などの寄港が相次いでいます。2021年度、



現在の港湾施設が完成した05年度から20年度までの計5隻に比べ、突出しています。今年度も2ヶ月で4隻寄港しています。

しかし、「定期的」かどうかの判断はこの4回の寄港で判断できず、2〜3年のある程度の期間で判断すると答弁。

## 通津美が浦公園の整備計画について

まず、事前の情報提供について、トリポリは接岸後30分経って、ミゲルキースは接岸直前5分前の提供です。国に対して「要請」ではなく、強く抗議することを求めました。

次に定期的かどうかの判断について、誰が見てもミゲルキースの寄港は定期的な寄港です。それでもなおかつ「特段大きな問題はなし」とするならば、市長の言うてきた「定期的な寄港は容認できない」という立場を捨ててしまったことになると思います。

最後に、トリポリ寄港の際、乗船しました。港の目的は何か。マスコミへの報道通知には「視察」と言っていますが、アメリカ軍広報サイトDVIDSには「福田岩国市長が20日トリポリを訪問し長い航海への謝意を伝える」とあり、写真も掲載されています。視察ではなく歓迎ではありませんか。「歓迎されれば、艦船が相次ぎ寄港する」のは、当然です。「負担増に見合う交付金の増額」を求め続けるのであれば、基地も市長もウインウィンです。(ウイ

開園した32年前は、市内小中学生が遠足などで、近隣の家族が何組も親子連れで訪れる活気ある施設でした。ところが最近、トイレをはじめ、野外のテーブルやイスなどの施設の老朽化が目立ち、修繕、整備も十分でなく、利用者が激減しています。

近年まで利用していた就学前の幼稚園、こども園もトイレ等が利用しづらいと他の公園を利用する始末です。ちなみに遠足前は先生が事前にトイレの掃除

などに来ていたそうです。通津美ヶ浦公園の今後の整備計画、特にトイレの整備について質問しました。

今のトイレは汲み取り式便槽で、合併浄化槽にするには、①合併浄化槽に伴う処理水の放流先、②補助金等に係る予算の執行 ③財源確保などの課題があるとの答弁でした。

まず、処理水の放流先は、当時は海水浴場で海への放流は困難だったが今の処理水は川に海に放流は可。補助金で建てたため、壊れて



放課後児童教室の待機児童数は、2018年が82人、19年が198人、20年が12人、21年が62人、22年が52人です。施設や支援員の慢性的な不足が原因です。教育民生常任委員会で今年「放課後児童クラブの人員確保の取り組みについて」品川区に行政視察に行きました。

品川区は人口約40万人、一般会計予算は約1890億で、ざっくり岩国の3倍です。人口は令和26年まで増え続け、子ども人口も令和18年まで増え続けるそうです。

その品川区の放課後児童教室(すまいるスクール)にあてる予算は、約15億6千万、待機児童はなく利用料の減額、免除成度もあり、活動も充実しています。

ンウイン双方にメリットがある)一方負担増になるなら、行政として失格であり、「基地との共存」方針の見直しが必要とされます。

## 放課後児童教室の待機児童問題について

ちなみに岩国市の予算は約3・2億円。夏休みになれば再度募集が行われ、益々待機児童が増えると予想されます。早急な対策を求めました。



ご意見・ご要望を  
お気軽にお寄せください

- 大西明子 090-7377-2089
- 小川安士 090-7993-5136
- 長岡辰久 090-4140-9396